

令和3年度

事業報告書

特定非営利活動法人がんサポートコミュニティ

1 事業の成果

(1) 心理社会的支援活動事業

(ア) サポート事業

同じような境遇にあるがん患者同士が出会い、語り合うことで不安や悩みを解消したり、“自分らしい”生き方を取り戻すことを目的として、発症部位別の大腸がんサポートグループ、また男女区別なくがんが発症した患者のためのサポートグループや乳腺・子宮・卵巣といった女性特有の部位にがんが発症した患者のための女性サポートグループ、さらに近年話題となっている就労しているがん患者を対象としたサポートグループを編成、さらに出張サポートグループとして柏市の協賛を得た柏サポートグループと大阪マラソンの寄附金による大阪サポートグループを企画し、看護師、社会福祉士及び臨床心理士といった専門家によってファシリテートされるグループ療法を提供した。各グループは月1～2回、年間80回開催し、延べ278人ものがん患者及び家族に対しグループ療法を提供した。サポートグループを開催するにあたり、参加者のマスク着用、入室時の検温とアルコール手指消毒の徹底、窓開けによる常時換気と空間清浄機の併用による感染症対策を講じ、開催時間を30分短縮、1回60分として提供した。

なお、令和2年頭から新型コロナウイルス感染症が世界的にまん延するなか、わが国では令和3年度も4月25日（日）～6月20日（日）／7月12日（月）～9月28日（火）の期間に緊急事態宣言が発出されたため、同期間のFace-to-Faceでの事業を中止し、代替策として令和2年度から開始したZoomを活用した「オンラインカフェ」を毎月1回、年間9回開催し、延べ40人のがん患者にオンラインでの対話機会を提供した。

(イ) 医療相談事業

外科および緩和ケアを専門とする医師2人による医療相談を毎週水曜日に開催し、がん患者及び家族8人に対して対面／電話でアドバイスを行った。

なお、令和2年頭から新型コロナウイルス感染症が世界的にまん延するなか、わが国では令和3年度も4月25日（日）～6月20日（日）／7月12日（月）～9月28日（火）の期間に緊急事態宣言が発出されたため、同期間の医療相談は無料の電話相談として提供した。

(2) 技術的支援活動事業

(ア) リラクゼーション事業

がん患者及び家族を対象として、①自律訓練法講座を月2回、計11回開催、延べ13人が参加、②ヨーガ講座を月2回、計14回開催、延べ65人が参加、③アロマセラピー講座を令和3年12月から月1回、計4回開催、延べ7人が参加、④コーラス講座(いきのちから合唱団)を月2回、計14回開催、延べ187人が参加、3種の講座合計43回開催、延べ272人のがん患者及び家族に対し提供した。

なお、令和2年頭から新型コロナウイルス感染症が世界的にまん延するなか、わが国では令和3年

度も4月25日(日)～6月20日(日)／7月12日(月)～9月28日(火)の期間に緊急事態宣言が発出されたため、同期間のFace-to-Faceでの事業を中止した。

(3) 普及啓発活動事業

(ア) 講演会

がん患者及び家族、市民に対し、がんに関する意識・知識の向上を目的とした第19回ペイシェント・アクティブ・フォーラムを録画収録し公式ホームページでオンデマンド無料配信する予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響で収録を断念し中止した。

(イ) 市民向けセミナー：第11回がんを学ぶセミナーTOKYO

関東圏在住のがん患者とそのご家族に対するがんに関する意識・知識の向上を目的にセミナーを令和4年2月5日(土)にがんサポートコミュニティー(東京)にて開催、新型コロナウイルス感染症対策として常時換気、空間清浄機の設置、人数制限をしたなかで、対面とZoomによるオンラインとのハイブリッド開催とし、対面4人とオンライン3人の計12人が参加した。がんを自ら体験した薬剤師でありキャリアコンサルタントでもある小澤雅之氏を講師に招いて「あなたの「働きたい」を支えたい」をテーマに講演いただいた。

(ウ) 令和3年度豊島区がん対策推進特別講演会&合唱団いきのちからコンサート2021

豊島区と小児がん対策国民会議と共催し、がん患者及び家族、市民に対し、がんに関する意識・知識の向上を目的とした豊島区主催の「令和3年度豊島区がん対策推進特別講演会」とがんサポートコミュニティー主催の「がん患者が歌う合唱団いきのちからコンサート2021」をジョイントさせ、令和3年12月20日(月)に南大塚ホール(東京)にて池袋保健所の指導のもと感染症対策を講じて開催、89人が参加した。令和3年度豊島区がん対策推進特別講演会では講師に国立成育医療研究センター小児がんセンター長兼外科診療部長・米田光宏氏に「ライフステージに応じてがんに向き合う～小児・AYA世代から高齢者まで～」をテーマに講演いただいた。合唱団いきのちからコンサート2021ではがん体験者14人がソプラノ/アルト/テノール/バスに分かれ、春に/わたしは月にはいかないだろう/Yesterday/世界に一つだけの花/The Rose～愛は花、君はその種子/Joy to the world～もろびとこぞりて/あら野のはてに/Silent Night～聖夜の全8曲を合唱した。加えてイベントを録画収録し公式ホームページでオンデマンド無料配信予定である。

(エ) 教育研修事業

将来サポート事業ならびに地域におけるサポート活動を担う人材育成のために、「ファシリテーター研修プログラム」を開発し、エーザイ株式会社との共催により令和4年1月8日(土)～9日(日)にエーザイ東京コミュニケーションオフィス(東京)で実施予定だったが、新型コロナウイルス感染症の影響で中止した。

(オ) 大阪マラソン

ランナーがそれぞれ選択したテーマに500円ずつ寄付するチャリティマラソンとして令和2年11月29日(日)に開催予定だった第10回大阪マラソンが、新型コロナウイルス感染症の影響で中止となった。そのため、令和4年2月27日(日)に第10回大阪マラソン・第77回びわ湖毎日マラソン統合大会として再度予定されましたが、新型コロナウイルス感染症の影響でエリートランナーのみの参加となり、チャリティランナーの参加が見送られた。2月25日(金)～26日(土)にインテック大阪で開催予定だったEXPO2021も中止となり、ランナー3万人2,000人を含む5万

5,000 人に対する「がんにならない、がんになっても自分らしく生きる社会」をめざした、がん検診受診と大阪サポートグループの認知向上の普及啓発活動も実施できなかった。

(カ) 説明会

がん患者及び家族に対して、がんサポートコミュニティの活動事業を紹介するために毎週金曜日に開催した。8 回開催し、12 組が参加した。

(キ) がんサポ通信

がん患者及び家族、市民に対して、がんサポートコミュニティの活動事業を紹介するために年 2 回発行、1 回あたり 2,000 部を配布予定だったが、新型コロナウイルス感染症の影響でがん患者とその家族との交流機会と情報発信の頻度を高くするために News Letter として毎月 1 回発行、配布した。

(4) 調査研究及び情報交換事業

(ア) 患者交流事業

①第 4 回とわの会：令和 2 年 10 月 16 日(土)に事務所においてサポート事業に参加していた患者が亡くなり、その遺族に対するプログラムとして第 4 回とわの会を開催予定だったが、新型コロナウイルス感染症の影響で中止した。

(ウ) がん対策の15年を振り返るワーキンググループ

がん対策基本法成立から 15 年が経ったことを受けて、医療者、患者団体リーダー、政策研究者及び関連企業と協働し、がん対策のこれまでの 15 年を振り返る検証とこれからの 15 年に向けた提言を「がん対策白書」としてとりまとめ、令和 4 年 3 月 1 日に発刊した。

(ウ) その他

第一三共と劇団四季が主催する「家族のきずなシアター」に後援し、がん患者及び家族 125 組 500 人を招待し劇団四季ミュージカル「ライオンキング」を四季劇場 [夏] (東京) にて観劇予定だったが、4 月 20 日 (火) に新型コロナウイルス感染症の影響で中止を決定した。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

(事業費の総費用【 20,983 】千円)

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	受益対象者範囲	受益対象者人数	事業費(千円)
心理社会的支援活動事業	サポート事業：患者及び家族に対して部位別・状況別の各種サポートグループを新型コロナウイルス感染症対策で時短して毎月 1～2 回運営。	日曜祝祭日を除く毎日	事務所	11 人	がん患者・家族	270 人	11,992
	新型コロナウイルス感染症対策として Zoom を活用した「オンラインカフェ」を実施。	毎月 1 回	事務所	6 人	がん患者	40 人	
	医療相談事業：患者及び家族に対し複数の医師による医療相談を希望に応じて対面／電話で実施。	原則として水曜日	事務所	2 人	がん患者・家族	8 人	

技術的 支援活動事業	リラクゼーション事業:患者及び家族に対するヨーガの指導は新型コロナウイルス感染症対策のため人数制限して実施。	原則 第1・3 木曜日	事務所	1人	がん患者・家族、 市民	65人	2,679
	リラクゼーション事業:患者及び家族に対するアロマセラピーの指導は新型コロナウイルス感染症の影響で中止。	原則 第3 金曜日	事務所	1人	がん患者・家族、 市民	7人	
	リラクゼーション事業:患者及び家族に対する自律訓練法は新型コロナウイルス感染症対策を講じて指導を実施。	原則 第1・2 火曜日	事務所	1人	がん患者・家族、 市民	13人	
	リラクゼーション事業:患者及び家族に対するコーラスの指導は新型コロナウイルス感染症対策のため人数制限して実施。	原則 第1・3 月曜日	南大塚地域 文化創造館	4人	がん患者・家族	187人	
	新型コロナウイルス感染症対策としてYouTubeを活用した「おうちで簡単ヨーガ」としてヨーガ講座の動画を配信。	随時	事務所	3人	がん患者・家族	3,504人	
	新型コロナウイルス感染症対策としてYouTubeを活用した音楽療法講座の動画を配信。	随時	事務所	3人	がん患者・家族	331人	
普及啓発 活動事業	市民啓発を目的とした講演会「第19回ペイシェント・アクティブ・フォーラム」は新型コロナウイルス感染症の営業で中止。	オンデマンド 配信	配信	0人	がんに関 心のある 一般市民	0人	4,257
	市民啓発を目的とした「第11回がんを学ぶセミナーTOKYO」を新型コロナウイルス感染症対策して対面とオンラインとハイブリッド開催。	2月5日	事務所	3人	関東圏の がん患者・家族、 市民	7人	
	「令和3年度豊島区がん対策推進特別講演会&合唱団いきのちからコンサート」を新型コロナウイルス感染症対策のため人数制限して開催。	12月20日	南大塚ホール	12人	がん患者・家族、 市民	89人	
	「令和3年度豊島区がん対策推進特別講演会&合唱団いきのちからコンサート」を令和4年度オンデマンド無料配信予定。	オンデマンド 配信	事務所	4人	がん患者・家族、 市民	0人	
	関東圏の専門家を対象に後進の育成を目的とした「ファシリテーター研修」は新型コロナウイルス感染症の影響で中止。	1月8日 ~9日	エーザイ 東京コミュニ ケーション オフィス	0人	関東圏の がん専門 相談員	0人	

普及啓発活動事業	広く市民に対するがん啓発を目的とした「大阪マラソン EXPO」は新型コロナウイルス感染症の影響で中止。	2月25日 ～26日	インテックス 大阪	0人	市民	0人	
	がん患者及び家族に対して活動紹介を目的とした「説明会」を開催。	原則として金曜日	事務所	4人	がん患者・家族	12人	
	広く市民に対する活動紹介として「がんサポ通信」発行は新型コロナウイルス感染症の影響で中止、「News Letter」を発行。	毎月1日	事務所	10人	がん患者・家族、市民	4,000人	
	広く市民に対するがん啓発を目的とした「がん患者支援アプリ CAN.」を開発、運営。	随時	事務所	3人	がん患者・家族、市民	1,300人	
	がん患者及び家族に対して関係函書を頒布。	随時	事務所	2人	がん患者・家族	300人	
調査研究及び情報交換事業	患者交流事業：がん患者の遺族と交流する「とわの会」は新型コロナウイルス感染症の影響で中止。	10月16日	事務所	0人	遺族	0人	2,055
	がん対策の15年を振り返るワーキンググループ：市民レベルで「がん対策白書」を制作し発刊	4月1日 ～3月1日	事務所	11人	がん患者・家族、市民	1,000人	
	その他：患者及び家族に対し家族の絆を深める「家族のきずなシアター」は新型コロナウイルス感染症の影響で中止。		四季劇場 [夏]	0人	がん患者・家族	0人	

(2) その他の事業

(事業費の総費用【 】千円)

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	事業費(千円)
	該当なし				